



【プレスリリース】

報道関係各位

2019年11月26日

## UD タクシー配車端末の実証実験を東部病院で実施

～次世代タクシー配車アプリ導入により、来院者の利便性向上を目指します～

拝啓 ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院（神奈川県横浜市鶴見区、以下、東部病院）は、2019年11月27日（水）より、I・TOP 横浜が協力、株式会社ディー・エヌ・エーが提供する次世代タクシー配車アプリ「MOV(モブ)」の仕組みを利用した、気軽にタクシーを呼べる専用配車端末「MOV CALL(モブ コール)」を設置する実証実験に参画いたします。

これまで来院者がタクシーを利用する場合、ご自身で配車を依頼するかタクシー乗り場で空車待ちをするかのいずれかしかなく、どのような車種が来るのか事前にわからないため、ケアの必要な人が待たされてしまう事態も発生しておりました。また配車アプリはスマートフォンでのみ利用可能なため、スマートフォンをお持ちでない方は利用できませんでした。

この度、来院者の利便性向上を目的とした実証実験において、スマートフォンをお持ちでない方でも会員登録することなくタクシーの配車ができ、足腰の弱い高齢者、車いす使用者、ベビーカー利用の親子連れ、妊娠中の方など、誰もが利用しやすいUD(ユニバーサルデザイン)タクシーも予約することが可能な、専用配車端末「MOV CALL」を当院に設置いたします。

これにより、待ち時間の目安がリアルタイムで表示されるほか、配車依頼後は予約レシートに記載の二次元バーコードを端末で読み取ることで配車状況の確認も可能となります。

当院は「Design Next Medical Road」というメッセージを掲げ、地域の未来の医療をデザインしていくことを目指し、今後も様々な取り組みにチャレンジしてまいります。

敬具

<本件についてのお問い合わせ先>

済生会横浜市東部病院 広報推進室 担当:今野・荒木  
〒230-8765 神奈川県横浜市鶴見区下末吉3丁目6番地1号  
電話:045-576-3000 Email:koho@tobu.saiseikai.or.jp

**【実証実験概要】**

- 実証実験期間 2019年11月27日(水)～2020年3月31日(火)
- 設置施設 〒230-8765 神奈川県横浜市鶴見区下末吉3丁目6番地1号  
 日中： 済生会横浜市東部病院正面入口  
 夜間： 済生会横浜再東部病院救急夜間出入口

**【日中の設置場所】**



**【夜間の設置場所】**



※その他、横浜市立市民病院、横浜市立脳卒中・神経脊椎センター、横浜労災病院の3施設にも設置されます。  
 ※今回の実証実験へ参加するタクシー会社は55社、約3,500台を予定しています。

**【利用方法(イメージ)】**



※利用にあたっては、メーター車賃、タクシー会社所定の迎車料金、有料道路通行料等をお支払いいただきます。  
 ※UDタクシーを指定した場合、車両指定料金が別途かかります。  
 ※タクシー配車予約後、待ち時間があります。

### **【MOVとは？】**

次世代タクシー配車アプリ「MOV」は、対応する乗務員専用端末とセットで、タクシーの配車をスムーズに行えるサービスです。乗客は、アプリで予想到着時間を事前に確認した上で指定の場所へタクシーの配車依頼を行うことが可能です。周辺を走行中のタクシーがリアルタイムに可視化されて表示されるため、空車走行中のタクシーを簡単に確認することもできます。

「MOV」には AI による需給予測システムを活用した「お客様探索ナビ」を導入予定です。既に、2017 年 9 月から 10 月まで横浜市の一部地域にて I・TOP 横浜の取組みを活用した実証実験を実施しており、その結果を踏まえた機能改善を行っています。この需給予測システムは、運行中のタクシー車両から収集するプローブデータ(自動車が行った位置や車速などの情報を用いて生成された道路交通情報)とタクシー需要に関連する各種データ(気象、公共交通機関の運行状況、イベント、商業施設などの POI 情報、道路ネットワーク構造など)を解析し、乗務員へリアルタイムかつ個別に走行ルートを推薦するものです。

### **【I・TOP(IoTオープンイノベーション・パートナーズ)横浜とは？】**

横浜経済の強みである「ものづくり・IT 産業の集積」を活かし、IoT 等 (IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等) を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。これらの取組から個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。

I・TOP 横浜ウェブサイト <http://itop.yokohama/>